

2025年大阪・関西万博～いのち輝く未来社会のデザイン～

万博概要 および
パナソニックグループパビリオン「ノモの国」
ご紹介

国際博覧会（万博）の歴史と役割

- 大阪・関西万博は国際博覧会条約に基づく博覧会で、日本では20年ぶり、大阪では55年ぶりの開催。
- 万博は科学技術の粋を示し、近未来を疑似体験する国威発揚型エンタテインメントの場であったが、1994年のBIE(博覧会国際事務局 Bureau International des Expositions)決議以降、**現代社会の抱える人類共通の課題を解決する場へと変容。**

【歴史】

従来型万博

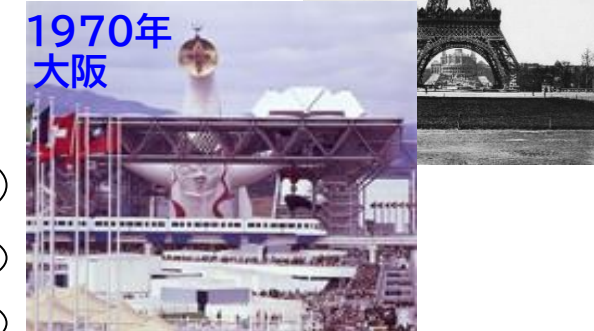
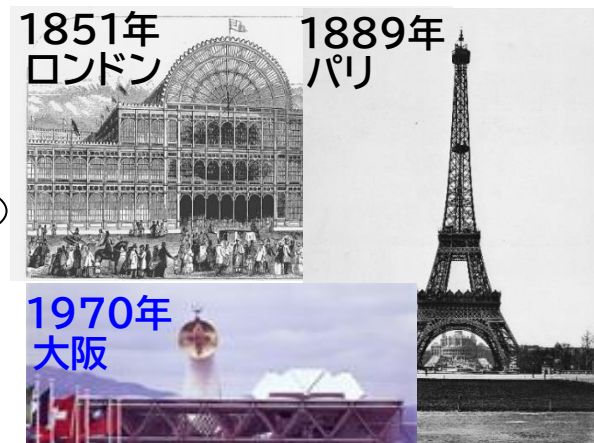
+ 現代的役割

- 1851 ロンドン万国博覧会(入場者:603万人) **世界初の万博**
- 1889 パリ万国博覧会(同:3,225万人) **エッフェル塔を建立**
- 1970 日本万国博覧会「人類の進歩と調和」(6,421万人) [大阪万博]**
- 1972 沖縄国際海洋博覧会「海—その望ましい未来」(348万人)
- 1985 国際科学技術博覧会「人間・居住・環境と科学技術」(2,033万人)
- 1990 国際花と緑の博覧会(2,312万人)
- 2005 日本国際博覧会「自然の叡智」(2,204万人) [愛知万博]**
- 2010 上海万国博覧会「より良い都市、より良い生活」(7,308万人)
- 2015 ミラノ万国博覧会「地球に食料を、生命にエネルギーを」(2,150万人)
- 2020 ドバイ万国博覧会「心を創る、未来を創る」(2,300万人)

2025 日本国際博覧会「いのち輝く未来社会のデザイン」(2,820万人想定)

一般博
現、登録博

登録博
登録博
登録博
登録博
登録博



最新技術が人々の豊かさの実現に直結し、レガシーに

[従来]

科学技術の粋を示し、非日常的な近未来の疑似体験ができる、国威発揚型のエンタテインメントの場

[現代]

国際社会が抱える、人類共通の課題解決への貢献、共感・共創のムーブメントづくりの場

2025年大阪・関西万博 概要

名称	2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives (救う) Empowering Lives(力を与える) Connecting Lives (つなぐ)
コンセプト	People's Living Lab
会場	夢洲 (大阪市此花区)
期間	2025年4月13日～10月13日
面積	155ha (甲子園球場40個分) ※甲子園球場総面積 : 38 500 m ² = 3.85 ヘクタール (ha)



参加国数	161ヶ国
来場見込み	2,820万人

大屋根リング～万博会場のシンボル

<会場デザイン>～世界とつながる海と空に囲まれた万博～



万博会場のシンボルである大屋根(リング)は、大阪・関西万博会場デザインプロデューサーで建築家の藤本壮介氏によりデザインされた、「多様でありながら、ひとつ」という本万博の理念を表す大阪・関西万博のシンボルとなる建築物です。

大屋根(リング)は、完成時には建築面積(水平投影面積)約60,000㎡、高さ12m(外側は20m)、内径約615mの世界最大級の木造建築物となります。

リングの屋根の下は、会場の主動線として円滑な交通空間であると同時に、雨風、日差し等を遮る快適な滞留空間として利用されます。また、リングの屋上からは会場全体を様々な場所から見渡すことができ、さらにリングの外に目を向ければ、瀬戸内海の豊かな自然や夕陽を浴びた光景など、海と空に囲まれた万博会場の魅力を楽しむことができます。

国内パビリオン(民間パビリオン)



企業グループ・団体名	
①	日本電信電話(株)
②	電気事業連合会
③	住友 EXPO2025推進委員会
④	パナソニック ホールディングス(株)
⑤	三菱大阪・関西万博総合委員会
⑥	吉本興業ホールディングス(株)
⑦	(株)パソナグループ
⑧	特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン
⑨	(株)バンダイナムコホールディングス
⑩	玉山デジタルテック(株)
⑪	一般社団法人日本ガス協会
⑫	飯田グループホールディングス(株)
⑬	一般社団法人大阪外食産業協会

民間パビリオン紹介

①「NTT Pavilion “NATURAL”」 日本電信電話株
②「電力館 可能性のタマゴたち」 電気事業連合会



③「住友館」 住友 EXPO2025 推進委員会



④パナソニックグループパビリオン「ノモの国」 パナソニック HD株



⑤「三菱未来館」 三菱グループ



⑥よしもと waraii myraii館 吉本興業HD株



⑦PASONA NATUREVERSE 株パソナグループ



⑧BLUE OCEAN DOME 特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン



⑨GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION 株バンダイナムコHD



⑩TECH WORLD 玉山デジタルテック株



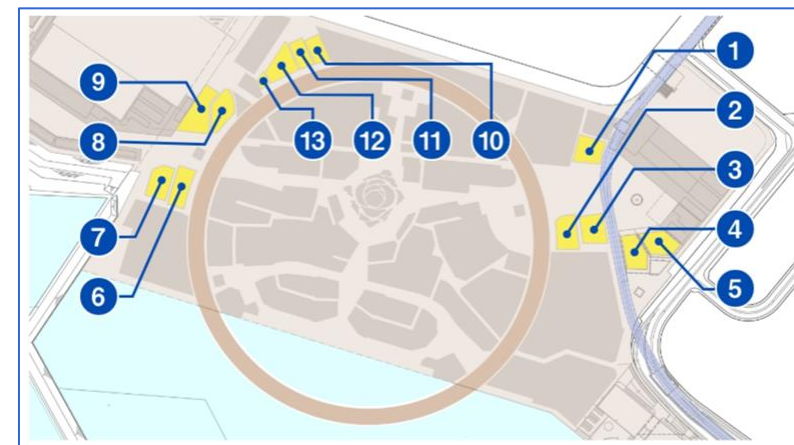
⑪ガスパビリオン おばけワンダーランド 一般社団法人日本ガス協会



⑫飯田グループ×大阪公立大学 共同出展館 飯田グループHD株



⑬ORA外食パビリオン 『宴～UTAGE～』 一般社団法人大阪外食産業協会



パナソニックグループ パビリオン「ノモの国」



パナソニックグループは、
「物と心が共に豊かな理想の社会」の実現を目指し
て事業を展開しています。

2025年大阪・関西万博では
「Unlock your nature」を掲げ、
α世代の子供たちが「自分を信じて、一步を踏み
出せるきっかけ」をお届けしたいと考えています。

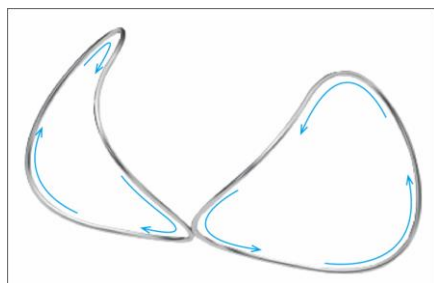
私たちは100年間モノづくりを通じて、その時どきの人々の暮らしや社会課題に寄り添ってまいりました。

だからこそ、「モノの捉え方は、こころの持ちようで大きく変わる」いわば「モノとこころはうつし鏡のような存在」であるという考えに至り、パビリオンを「ノモの国」と名づけました。

ぜひ、大阪・関西万博に足を運んでいただき、「ノモの国」の世界観をご体験ください。



子どもたちの心が「解き放たれる」デザイン



立体的な循環の形をしたモチーフ



3つの循環で生まれるパビリオン



ご家庭で使用済みの「家電」が、
分解されてパビリオンの主要部材に。

柱・梁の約98% (97t) に家電リサイクル鉄を使用
洗濯機 (9200台分) リサイクルガラスを使った舗装ブロック749㎡
家電リサイクル銅 (約1.2t) による幹線ケーブル891m



工場出る「端材」や「廃材」を、
想像を超えた形にアップサイクル。

テレビプリズムシート、空調機器銅管、LED誘導灯亚克力板、
システムキッチン人造大理石、パイプフードステンレス版



世界中で廃棄・焼却されていた「廃材」が、
生まれ変わって活用され、社会課題も解決。

PALM LOOP™ マレーシアでパーム油収穫のために植えられるアブラヤシの廃材をパナソニックグループ独自技術でアップサイクルした板材でパビリオン家具を製作
森林資源の有効活用を目指す床材製品「サステナブルフロア™」をパビリオン屋内で使用

「ノモの国」～展示ゾーン



ノモの国

α世代の子供たちが主人公となって、一人ひとりのソウゾウする力を解き放つ「ノモの国」の物語体験を、当社が培ってきた人の理解研究に基づくセンシングや、光・音・風など空間で五感を刺激する技術で演出する

大地

パナソニックG社員が思い描く、ひとと自然のより良い720°の循環が生まれる未来と、それを実現する技術開発への挑戦に触れ、子どもたちの一步を踏み出す気持ちを後押しする

「ノモの国」～展示「大地」

ひとと自然の営みが循環する未来社会を想像することから始まった5つの共創事例を紹介

生分解性セルロース ファイバー

植物由来素材を活かし、造形・強度・色・大きさの制約なく自然と循環するモノづくりができる



バイオリイト

小さな生き物の力に触れ、引き出すことで相手を助けながら自分自身も癒される



ペロブスカイト太陽電池

景観を彩り太陽の光を透過する太陽光パネルで、ひとにも自然にも優しくエネルギーを創ることができる



シアノバクテリア

植物が持つ力を引き出すことで、環境に負荷をかけずに植物を豊かに実らせることができる



バイオセンサリドーム

騒がしい日常から一步離れ感覚を研ぎ澄ますと、普段気づかない自然の力や自分の感性を再発見できる



Panasonic Group Pavilion



The Land of NOMO

